

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

— 第32号 —

＝ 目 次 ＝

- 平成30年総会 2
- 講演会・日野川フォトコンテスト表彰式 3
- 日野川源流探訪 4
- 日野川ラフティング体験&川の生き物観察会 5
- わくわく自然体験&外来植物除去活動、奥大山古道ウォーク2017 6
- スノーシューを履いて歩こう&冬芽観察・アニマルトラッキング 7
- 平成29年森と水に親しむ活動を支援！ 8
- 幹事の部屋 9
- 今後の活動予定、会員募集 10

表紙写真：日野川(米子市)

平成30年

総会・講演会が開催されました

平成30年2月16日(金) 場所:米子市文化ホール イベントホール

平成30年日野川の源流と流域を守る会の総会・講演会を開催し、約100名の参加がありました。

はじめに、豊島会長から「今年は大雪だが、溶けた雪は伏流水となり日野川に流れる水の基となる」と挨拶があり、続いて事務局から平成29年事業報告、平成30年事業計画と役員改選の提案があり、原案のとおり承認されました。



平成30年 活動の基本方針を決定

- 日野川流域のすばらしさを積極的に伝えていくとともに活動でメッセージを伝えていく。
- 森、川、海を守る活動、歴史や文化、自然を学ぶ活動、普及啓発活動、その他本会の目的を達成するために必要な活動をバランス良く実施する。
- 日野川の将来を担う子ども達の積極的な育成を図る。
- 連携を深め、より良い活動を行う。

平成29年収支決算

1 収入の部

(単位:円)

区分	決算額	備考
繰越金	736,491	平成28年より
会費	761,000	
補助金	835,039	H29とっとり県民参加の森づくり推進事業補助金、H28森と海の交流体験プロジェクト支援事業
その他	66,394	鳥取県社会福祉協議会負担金、寄付金等
計	2,398,924	

2 支出の部

(単位:円)

区分	決算額	備考
会議費	154,199	総会、幹事会
事業費	883,019	
助成金	498,900	4団体に助成
広報費	178,354	会報30・31号
事務費	206,053	郵送料、封筒作成費ほか
予備費	0	
計	1,920,525	

※残額478,399円は、次年度に繰越

平成30年収支予算

今年度も、総会・講演会や森・川・海を守る活動、歴史・文化・自然を学ぶ活動、上流域と下流域の交流推進活動、日野川流域憲章記念事業などの活動を行います。

1 収入の部

(単位:円)

区分	前年予算額	本年予算額	増(▲)減	備考
繰越金	736,491	478,399	▲258,092	平成29年より
会費	850,000	800,000	▲50,000	
補助金	1,002,000	800,000	▲202,000	H30とっとり県民参加の森づくり推進事業
その他	100	100	0	預金利息等
計	2,588,591	2,078,499	▲510,092	

2 支出の部

(単位:円)

区分	前年予算額	本年予算額	増(一)減	備考
会議費	150,000	150,000	0	総会、幹事会
事業費	1,350,000	1,000,000	▲350,000	イベント開催に要する経費
助成金	600,000	500,000	▲100,000	4団体
広報費	200,000	200,000	0	会報ひのがわ32号、33号
事務費	210,000	210,000	0	郵券料、封筒作成ほか
予備費	78,591	18,499	▲60,092	
計	2,588,591	2,078,499	▲510,092	

講演会

「日野川とたたら」～自然との共生～

総会に引き続き、日野郡で長年にわたり、たたら遺跡の発掘調査をされている「伯耆国たたら顕彰会」事務局長の藤原洋一氏から、「日野川とたたら」～自然との共生～をテーマに講演していただきました。

参加者は日野川とたたら製鉄のつながりや、自然環境を守りながらたたら操業する智恵などに熱心に耳を傾けていました。



講師 藤原洋一氏

(伯耆国たたら顕彰会 事務局長)

日野川フォトコンテスト 受賞者表彰式

「日野川流域の恵みと魅力を次世代に引き継ごう」をテーマに日野川フォトコンテストを開催しました。

日野川の魅力あふれる写真が集まり、厳正な審査の結果、グランプリ1点、金賞3点、銀賞3点が選ばれ、受賞者に賞状と副賞の日野川流域の特産品が授与されました。

応募期間 平成29年6月12日～9月29日

応募作品 14点



👑 グランプリ



「清流」 真砂 美鈴

👑 金賞



「落日」 真砂 昇平



「水遊び」 榎木 建明



「あめつちの間に」 小島 憲二

👑 銀賞



「水滴」 中村 真生子
(デュードロップ)



「秋風情」 池田 兆一
(ノビタキ)



「日野川と伯備線」 勝瀬 友浩

活動
レポート

日野川源流探訪

H29.9.23 場所：日南町新屋



いつまでも残したい美しい日野川の源流を訪ねて

本会のメインイベントである「日野川源流探訪」を開催しました。今年は日南町の林業指導員の坪倉敏さん、日本野鳥の会会員で当会の幹事の達磨晋さんと鳥取県自然保護監視員の藤原文子さんの3名を講師に源流までの道中に自生する植物や地域の歴史等の解説を受けながら日野川源流の碑を目指しました。

道中はロープを使って斜面を登ったり、川を渡ったりと険しい場所もありましたが、貴重な自然に触れながら楽しく目的地に向かいました。往復約7 kmの行程でしたが、全員が無事に日野川源流の碑に到着することが出来、とても充実した活動となりました。



▲植物について解説する藤原講師



▲森林内にある炭焼きの跡の解説をする坪倉講師



▲日野川の歴史について解説する達磨講師



▲川の流れを辿りながら源流の碑を目指します

- 天気も良く、全行程がスムーズで、楽しく歩くことができました。
- 長い間行って見たかった源流。やっと実現しました。とても楽しかったです。
- 詳しいガイドに親切なサポート、安心して楽しく1日過ごさせて頂きました。
- 個人では行けない所に連れて行ってもらい、美しい景色を堪能できました。

参加者の
声

活動
レポート日野川ラフティング体験&
川の生き物観察会

H29.9.30 場所:日野町中菅

日野川ラフティング体験 2017.9.30
日野川の源流と流域を守る会

日野川の新たな魅力と豊かな自然を体感しました!

午前中は当会の幹事の黒坂小学校の神庭賢一校長先生を講師にトンボや水生昆虫の観察会を開催しました。時季的にトンボの数が少なくなってきたので、当日も飛んでいるのか心配でしたが、キイトンボやオオシオカラトンボ、アキアカネ等数種類のトンボが飛んでいて、「ほら、あっちに飛んでいったよ」とトンボを追いかけたり、指にとまってくれたりして大喜びです。

いつの間にか仲良くなった子どもたちは、協力しあって、上手に網を使ってコオイムシなどを捕まえてバケツや水槽に入れては、講師に質問していました。大人の皆さんも童心にかえって、子どもたちと一緒に楽しんでいました。



▲ほらあっちに飛んでいったよ



▲そこにいるよ、どこどこ?

午後からは、日野川をラフティングで下りました。始めは穏やかな流れだったのですが、岩場や急流もあり、スリル満点の川下りです。途中でボートを降りて、大きな岩の上から川にドボンとダイブしました。最年少の男の子も、頑張って飛び込みました。また、急流では「キャー!」という歓声とともに次々にボートが下流へ下流へと流れて行きます。ゴールが近づくと、ボートから下りて、日野川を泳ぐ子もいました。



▲まだまだ余裕の表情です



▲まるでジェットコースターみたい

- 川の生き物観察ができなかったけど、トンボ観察も楽しかった。
- ふだんは陸の上からしか日野川を見ることがないので、ボートから見る景色はとても新鮮でした。春にもやってみたいです。
- ラフティングは落ちそうになって怖かったけど楽しかったです。特に、高いところからジャンプしたり、急な流れが良かったです。

参加者の
声

活動
レポート

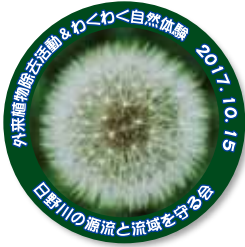
外来植物除去活動& わくわく自然体験

H29.10.15 場所：江府町御机（鏡ヶ成）



植物について学び、自然の恵みを満喫！

希少な自然環境が残されている大山隠岐国立公園内で、外来植物除去作業&わくわく自然体験を開催しました。この日は生憎の雨天で、予定していた野外での活動が実施できなかった代わりに、室内で植物の勉強会を行いました。植物の勉強会では、鳥取県自然保護監視員の藤原文子さんを講師に国立公園内に自生する植物の生態や見分け方を、スライドを使いながら解説しました。午後からはススキを使ったフクロウづくりを行い、参加者は秋の鏡ヶ成の自然を満喫していました。



▲国立公園内の植物について解説する藤原講師



▲ススキのフクロウづくりに熱中する参加者



- 雨天でも室内のプランがあり楽しく過ごせました。
- ススキを使ってのクラフトは初めてだったので楽しかった。
- 雨天のため外来植物除去は出来なくて残念でしたが、スライドを使った植物の説明があつてよかったです。

活動
レポート

奥大山古道ウォーク2017

H29.11.11 場所：江府町御机、下蚊屋

秋の奥大山で歴史を感じる！

今年で14回目となる奥大山古道ウォーク、地元ベテランガイドの案内で歴史あふれる大山古道を散策し、参加者は森林や水の大切さを改めて実感したようでした。

また、古道散策の後、江府町下蚊屋までバスで移動して、鳥取県指定無形民俗文化財でもある下蚊屋荒神神楽を鑑賞し、歴史ある伝統芸能に大満足の様子でした。



活動
レポートスノーシューを履いて歩こう&
冬芽観察・アニマルトラッキング

H30.2.24 場所:江府町御机(鏡ヶ成)



冬の奥大山を歩き、自然を堪能する!

江府町鏡ヶ成で「スノーシューを履いて歩こう&冬芽観察・アニマルトラッキング」を開催しました。

この日は天候にも恵まれ、当会の幹事の達磨晋さんと鳥取県自然保護監視員の藤原文子さんを講師にこの時期にしか見ることのできない冬芽観察や動物が残した痕跡を辿るアニマルトラッキングをしながら、冬期は封鎖中の鬼女台に向かう県道をスノーシューを履いて歩きました。

冬芽観察では、普段は高い所にあるために近くで見ることが出来ないトチノキの冬芽やツルアジサイの花を見つけることができました。アニマルトラッキングでは、ノウサギのフンやテンの足跡を見つけることができ、日野川流域の自然の豊かさを実感しました。参加者の方は雪の多さに驚きながらも、ふわふわした雪の上を歩くのを楽しんでいました。



▲スノーシューを履いて出発!



▲ツルアジサイの解説をする藤原講師(写真左)



▲普段は高い所にある道路標識がこんな近くにありました



▲動物の足跡の解説をする達磨講師(写真右)

- イベントに参加しなければ見られないもの、聞けないお話を聞くことが出来てとても新鮮でした。
- 雪原で普段目にするのことがない物を見ることが出来てとてもよかったです。
- 冬の鏡ヶ成は初めて、天気にも恵まれてとても楽しい1日を過ごすことが出来ました。

参加者の
声

平成29年 森と水に親しむ活動を支援

将来を担う子どもたちや流域住民の方に、体験を通して日野川流域の森や水辺の自然環境、歴史文化などに対する理解を深める取り組みを行っている団体を支援しています。

ゲンジボタル・ヒメボタル観察会& ナイトウォークin鏡ヶ成【休暇村奥大山】

ホタルの生態を知ることを通して自然の大切さを学んでもらう観察会が開催されました。

参加者は講師からホタルの生態を学んだあと、ホタルの生息地めぐりしてナイトウォーク。途中、都会ではあまり聞くことのない虫や野鳥の声を聞くこともできました。ホタルの生息地では、ホタルの飛び方やオス・メスの光り方の違いなどを意識しながら、興味深そうに観察していました。



日野川に親しむノルディックウォークin江府町【伯耆国たたら顕彰会】

日野川周辺をめぐる、日野川に親しむノルディックウォークが江府町で行われました。

当日は、季節外れの台風接近による生憎の荒天でしたが、江府町防災・情報センターに集まった参加者の皆さん59名は、4kmと9kmの2つのコースに分かれて出発。日野川の自然に触れながら、ノルディックウォークを楽しんでいました。



募集中 平成30年森と水に親しむ活動支援事業

今年も、日野川の源流と流域の森と水に親しみ学ぶ活動を行う団体等を支援します。昨年と同じく概ね4団体を支援予定で、3月5日(月)から第1次募集を開始しています。活動計画のある方は、ぜひ応募ください！

支援対象	<ul style="list-style-type: none"> ・日野川及びその流域の森で行われる森や水に親しみ学ぶ活動やイベント ・親睦やレクリエーションではなく、森や水辺の自然やこれらに関わる歴史・文化などを学ぶことが盛り込まれた活動
対象団体	(1)団体・グループ 米子市、境港市、西伯郡又は日野郡に所在する小・中学校、PTA、会社、企業グループ、自治会、子ども会、公民館、ボランティアグループ、NPO団体など (2)本会の会員 <ul style="list-style-type: none"> ・個人会員：概ね10人以上が参加する対象事業で会員の参加が全体の2分の1以上のもの ・法人会員：概ね10人以上が参加する対象事業のもの
対象経費	講師謝金、講師旅費、使用賃借料、印刷製本費、広報宣伝費、備品購入費など
支援額	1団体あたり上限10万円(会員は上限15万円)

※詳細については、本会ホームページを御覧いただくか、事務局まで御連絡ください。

「森と水に親しむ活動支援事業」

トップページ：<http://www.pref.tottori.lg.jp/219649.htm>

日野川の源流と流域を守る会

検索

幹事の部屋

日野川の源流と流域を守る会の幹事を紹介します。

これまでの活動を振り返って

私は、本会が立ち上がる頃に日野総合事務所(現日野振興センター)に勤務しており、会の立ち上げに向けて源流の標柱、土屋の田んぼ、坂郷川の源流などの調査と下見に何度か行きました。そして会が立ち上がり、第一回目の源流を歩く会に案内人として参加しました。設立当時は会員も多く、大型バス数台で多くの会員が参加しました。新屋集落から日野川に沿って土屋を目指して歩きましたが、中には途中で迷子になり、事務局が探しに行き連れ帰った人も出ました。また、昼食時に「ロシアの源流の水」を飲み過ぎて酔いが回り、帰路ではふらつきながらやっと出発地点まで帰る人が出るなど大変だったことを覚えています。その後も当会のガイドとしてだけでなく米子市水道局の源流探訪など、毎年数回は源流の碑まで行っています。15年以上源流を訪れていると、道中で様々な植物や動物に出会うなど多くの体験をするとともに、最近では国有林の木々がずいぶん立派になったと感じるようになりました。



幹事 矢田貝 繁明

身の回りで起こっていること

日野川の源流と流域を守る会幹事会が設けられて以来、自分なりに何をすべきか皆さんの意見や考え方を吸収しながら考えてみました。問題は小さいものから地球規模のものまで多くありますが、私の身の回りで起こっていることを感じたままに記してみます。

秋の夕暮れ時、群れで飛ぶ姿が郷愁を誘う日本を代表する赤とんぼ(アキアカネ)。私が子どもの頃には周りにたくさんいましたが、数年前からほとんど見かけなくなり、アキアカネを絶滅危惧種に指定している県もあります。アキアカネだけでなく、春の花々を飛び交う日本ミツバチや日野川を泳いでいた魚、昨年まで田園の片隅で泳いでいたタガメや自宅の周りにいた鳥たち等、昔は身の回りにいた生き物たちの数が減ってきています。

生き物が減った原因として、日野川流域の護岸工事やカワウ、アオサギ、環境汚染での水質の悪化や偏った保護の仕方などが考えられます。また、近年、世界的に問題視されているのが農薬(ネオニコチノイド系)の使用で、日本ミツバチの生態系やヤゴへの影響が懸念されています。これらは全て人間の犯したことであり、今こそ、住み家を失った動植物たちを守る手を差し伸べるときであると思います。日野川流域の多様化、生態系を崩さないよう微力ながら努めていきたいと考えています。



幹事 榎木 建明

案内 平成30年 これからのイベント・行事

【H30.4.10現在】

時期	イベント名	内容	開催場所
5/13(日)	春の山菜を楽しむ会 & 自然観察	専門家の自然解説を受けながら、春の野山を散策した後、実際に食すことで自然の恵みを満喫します。	江府町
6/2(土)	森林整備と自然観察	日南町の森林で間伐などの森林整備作業を体験した後、自然観察会を開催します。	日南町
6/16(土)	流域の自然を守る外来植物除去&植物学習会	流域の自然を阻害する外来植物の除去作業を行った後、植物観察会を行います。	日吉津村
6月~9月	日野川写真コンテスト	日野川流域の自然、歴史、文化などを対象にした写真コンテストを開催します。	—
7/1(日)	日野川一斉清掃	日野川一斉清掃に参加します。	米子市古豊千ほか
8/18(土)	日野川ラフティング&生き物観察会	日野川でラフティング(川くだり)体験と自然観察会を開催します。	日野町
7~8月	日野川の自然環境と希少生物を守る体験活動	専門家によるオオサンショウウオ生態調査を見学し、河川生物の観察会を開催します。※日野郡内の生徒・児童対象	日野町ほか
8月末	日吉津海岸クリーン作戦	日吉津海岸一斉清掃に参加します。	日吉津村海岸
9/8(土)	水産体験学習交流(日野川写真塾と同時開催)	境漁港でマグロ水揚げを見学し、その後、日野川流域で写真撮影勉強会を開催します。	境港市ほか
9/29(土)	日野川源流探訪	専門家の自然解説を受けながら日野川源流の碑を目指して探訪します。	日南町
10/13(土)	都合山たたら散策ツアー	専門家の自然・たたら解説を受けながら、たたらに縁がある場所まで散策して自然と歴史を満喫します。	日野町
11月上旬	奥大山古道ウォーク	専門家の自然・歴史解説を受けながら、大山古道を散策し、荒神神楽を鑑賞します。	江府町鏡ヶ成ほか

(注1) イベント開催日、内容は、変更される場合があります。

(注2) イベントの詳細内容や参加申込み方法は、募集の際(概ね1ヶ月前)に案内します。

日野川の源流と流域を守る会

会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに
支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。

日野川流域憲章

【前文】

私たちは悠久の時の流れの中で、多くの恵みをもたらしてくれた日野川、その流域の素晴らしい自然・環境を守り、日野川の清流化に向けて活動します。日野川はたくさんの動植物の生命を育み、たくさんの人たちの生活も支えてくれています。

また、日野川流域には伝統ある生活文化・芸術が育まれています。私たちは日野川の歴史・自然を学び、よく理解して、より豊かできれいな日野川の流れを後世に残すために、みんなで力をあわせて活動します。そのために、ここに「日野川流域憲章」をつくり、多くの人たちの参加・協力をよびかけます。

【日野川流域憲章(理念)】

- ・日野川流域の自然・環境を守り、川と私たちとの素晴らしい共存に努めます。
- ・日野川のきれいで豊かな流れが、いつまでも続くように美しい緑の森を守り、育てるように努めます。
- ・日野川流域の交流・連携をすすめます。
- ・日野川流域の歴史・生活文化を学び、その知識を次世代に引き継ぐように努めます。
- ・日野川流域に培われてきた、さまざまな価値ある魅力を大切に、継続的な地域の発展に努めます。
- ・日野川流域を愛する人たちの輪が広がるように努めます。

平成20年8月23日
日野川流域憲章制定実行委員会